

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤 和久
		全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業												
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費											
	事業	010000 生涯学習推進事業											
事業目的						事業概要・効果							
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 						<ul style="list-style-type: none"> ・様々な団体等とタイアップしながらまちづくりについて、協議や検討を加える。 ・地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 ・地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ・須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の優れた人材を活用し、多様な学習ニーズに対応した「生涯学習出前講座」メニューの拡大と更なる推進を図る。 ・生涯学習指導者（リーダー）の高齢化が進み、若い指導者（リーダー）を養成する講座の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課が連携した講演会等の開催。 ・生涯学習関係機関が連携した生涯学習スタンプラリー（仮名）の開催。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学びなおす機会を設ける。 ・住民参加のまちづくり推進の取り組み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学びなおす機会を設ける。 ・新しいまちづくりボランティアの団体支援。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学びなおす機会を設ける。 ・組織の見直しによる事業や資源等の再構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園の開催 ・生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学ぶ機会を設ける。 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		8,839	20,340
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	472	0
	地方債	0	0
	その他	18	78
一般財源		8,349	20,262
人員数(人)	正規職員	0.6	3.3
	嘱託職員	1.5	2.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,359.0	23,974.5
	嘱託職員	4,243.5	5,658.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,602.5	29,632.5
市民一人当たりの経費		0.3	1.0
総額		17,441.5	49,972.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	423	まちづくり実践講座275、須坂学舎95、まなび一号(隊)48、インストラクター学習会5
11節 需用費	2,110	消耗品費216、食料費25、印刷製本費1,869
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	6,306	報酬5,064、共済費781、旅費17、役務費444

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,652	講師謝礼935、謝礼253、記念品代外464
10節 需用費	3,965	消耗品費1,549、食料費71、印刷製本費2,345
12節 委託費	134	委託料134
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	519	負担金69、補助金450
その他	14,070	報酬4,300、給料4,481、職員手当等1,569、共済費1,561、旅費564、役務費1,474、備品購入費121、

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	生涯学習によるまちづくりや地域づくりを進めることは必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	住民の課題解決の方策として生涯学習を推進することは有効。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	低コストでの事業継続を進めているが、財源確保について課題。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生涯学習の原点に立ち返り、地域学、地元学を学ぶ機会を設けた。組織改正による事業の見直しが今後必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
-----------	------------

総合評価コメント

各課等と地域公民館のコーディネートを図りながら、市民に生涯学習の機会を提供する。

2次評価コメント

- ・「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」につながるような事業展開を検討する。
- ・組織改正に伴い、事業の再構築を行う。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--